

報道用資料

「不妊治療の保険適用の条件緩和に関する緊急アンケート 2025」

グラフ集

※小数点第一位を四捨五入しているため合計は 100%にならないグラフがあります。

※本調査結果を引用する場合、下記をご記載ください。

『NPO 法人 *Fine* 「不妊治療の保険適用の条件緩和に関する緊急アンケート 2025」 より』

NPO 法人 *Fine*  
2026 年 2 月発行

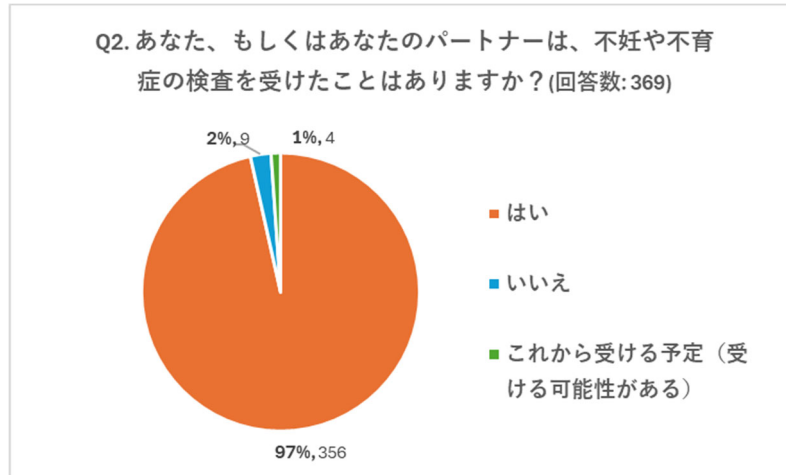


図 1

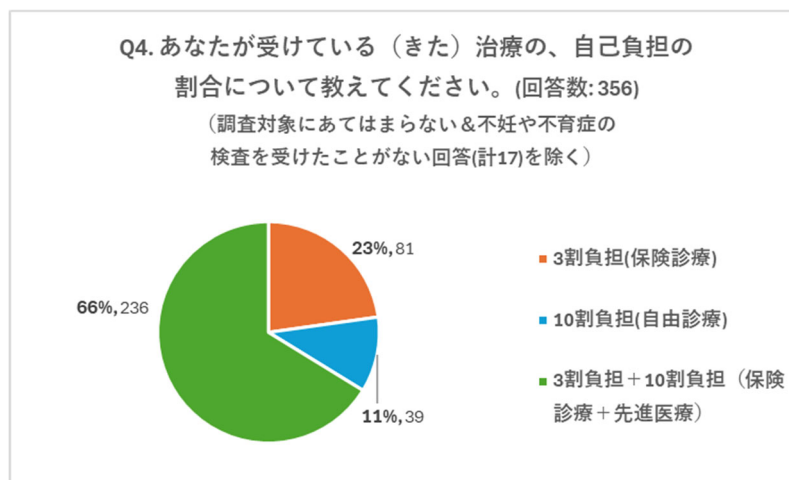


図 2

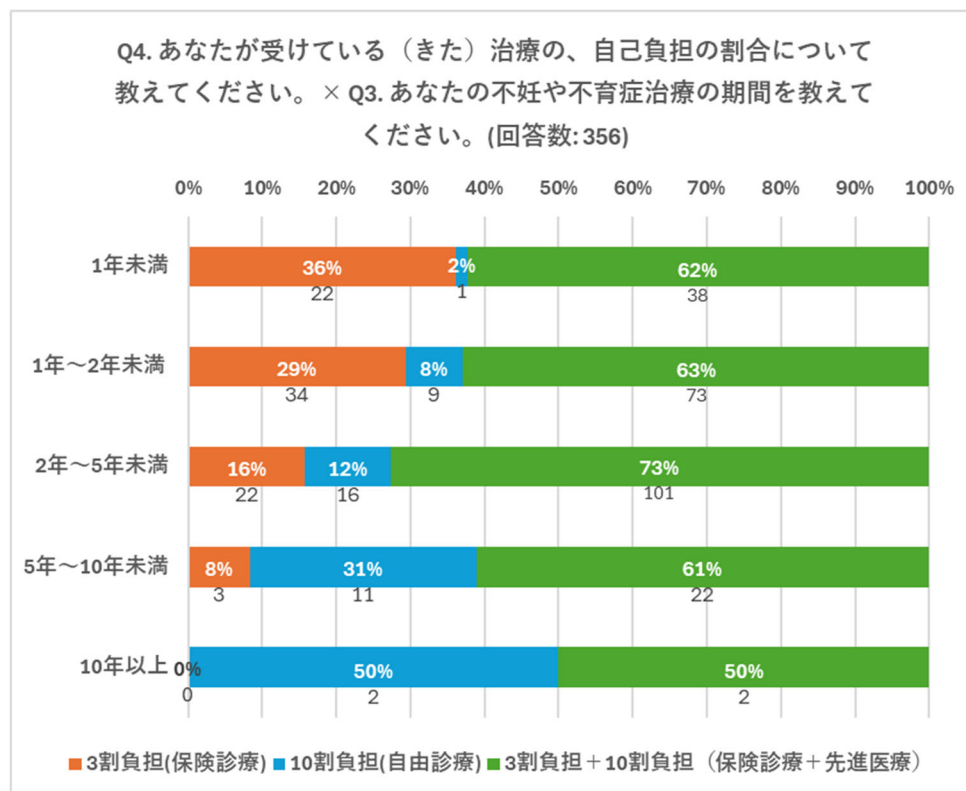


図 3

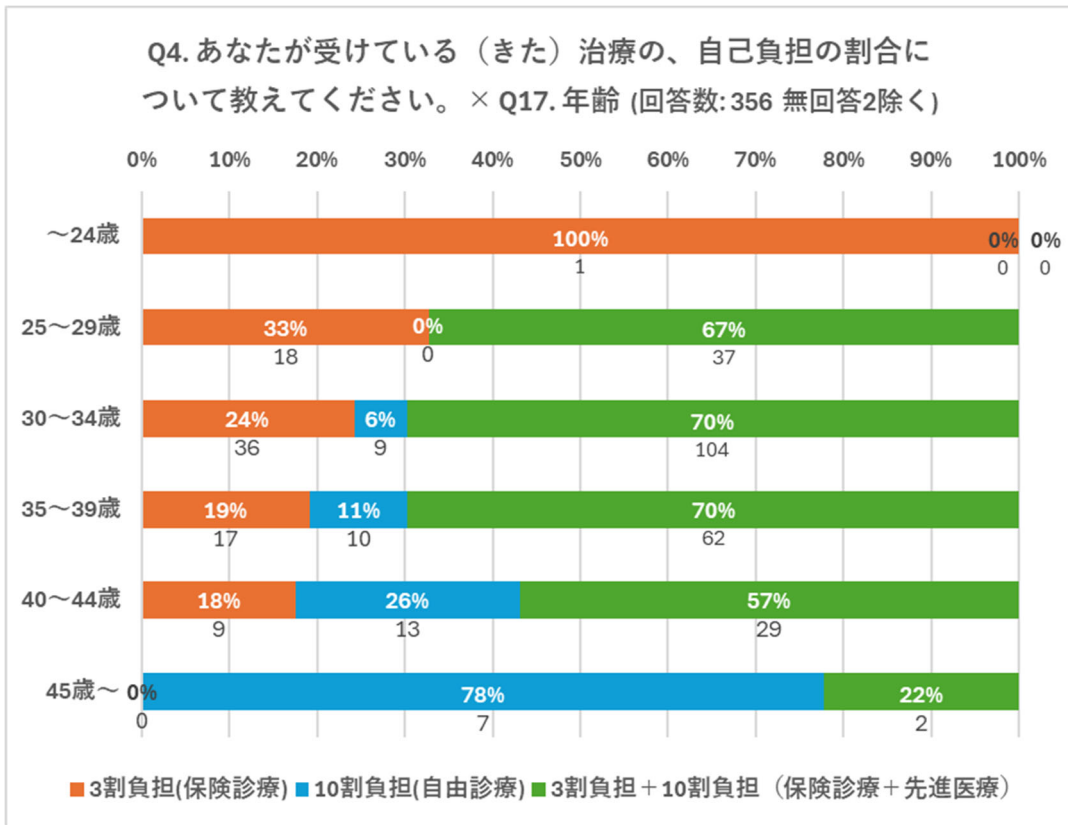


図 4

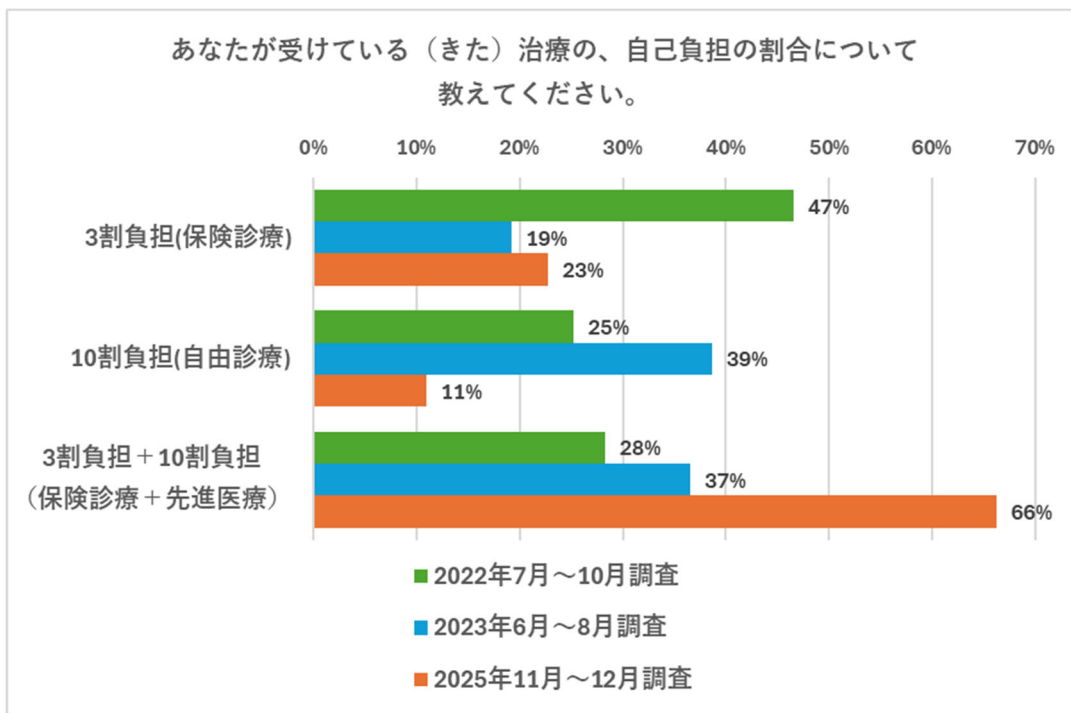


図 5

Q4. あなたが受けている (きた) 治療の、自己負担の割合について教えてください。 ×

Q18. お住まいの都道府県 (回答数: 356)

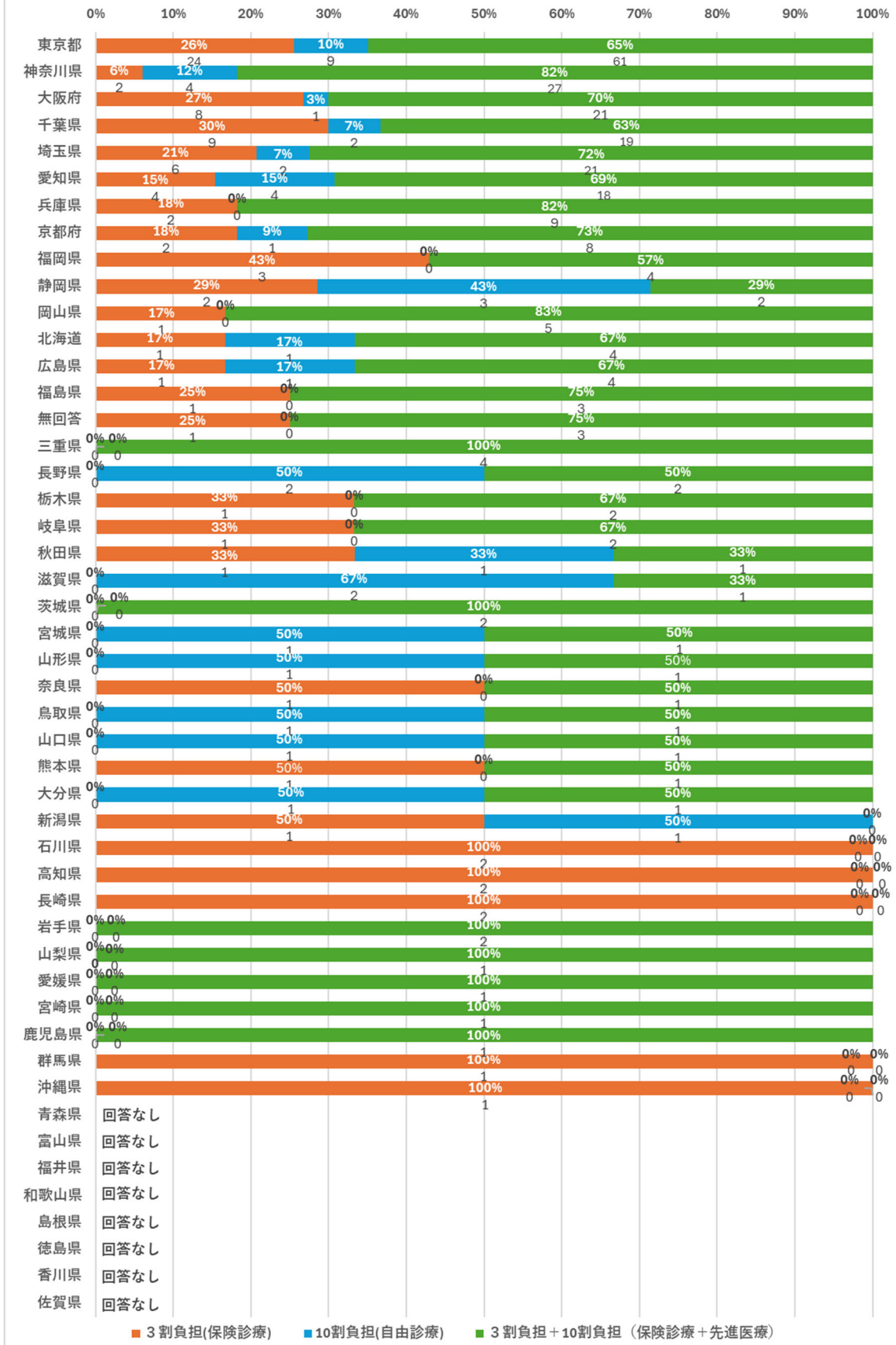


図 6

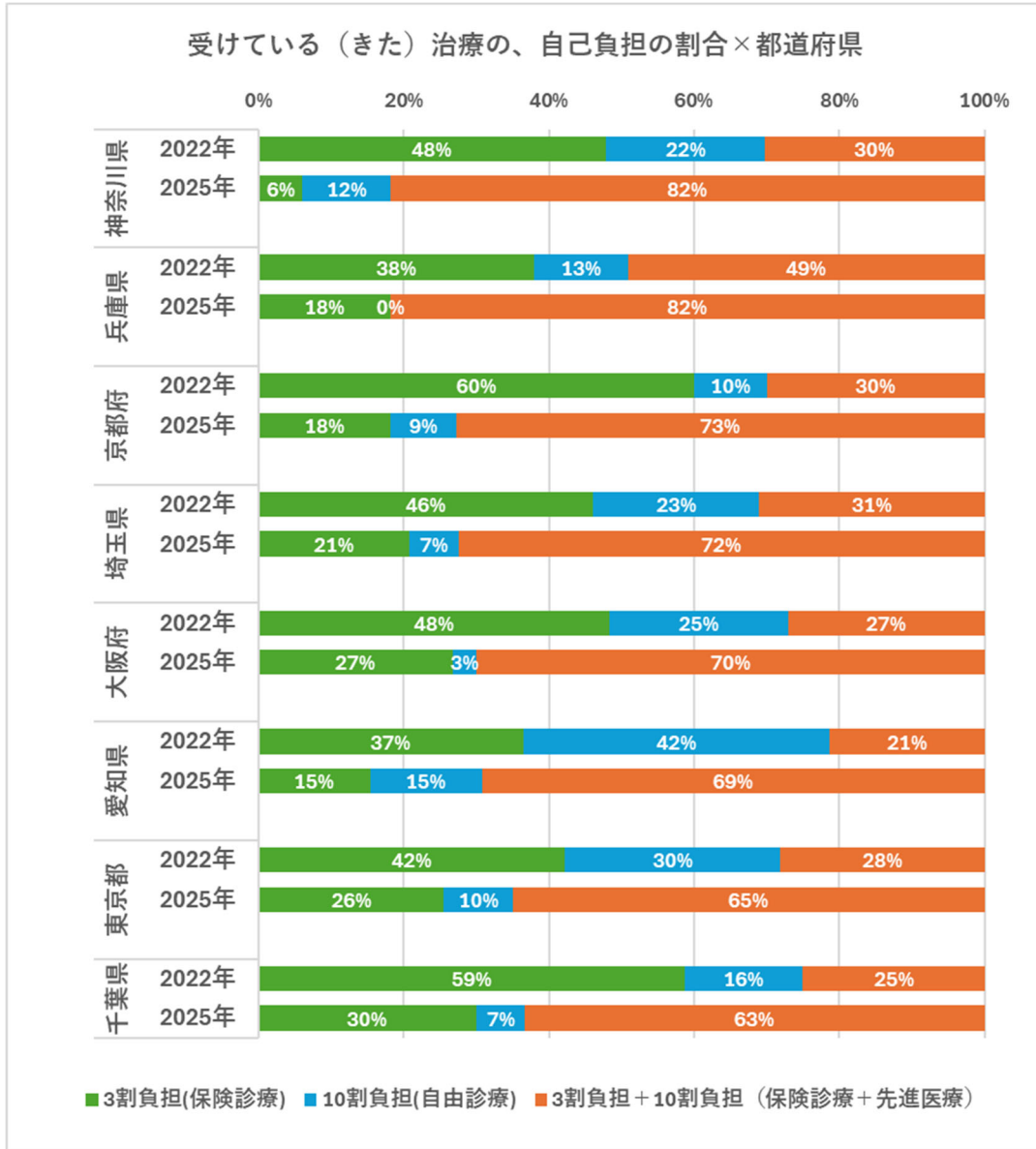


図 7

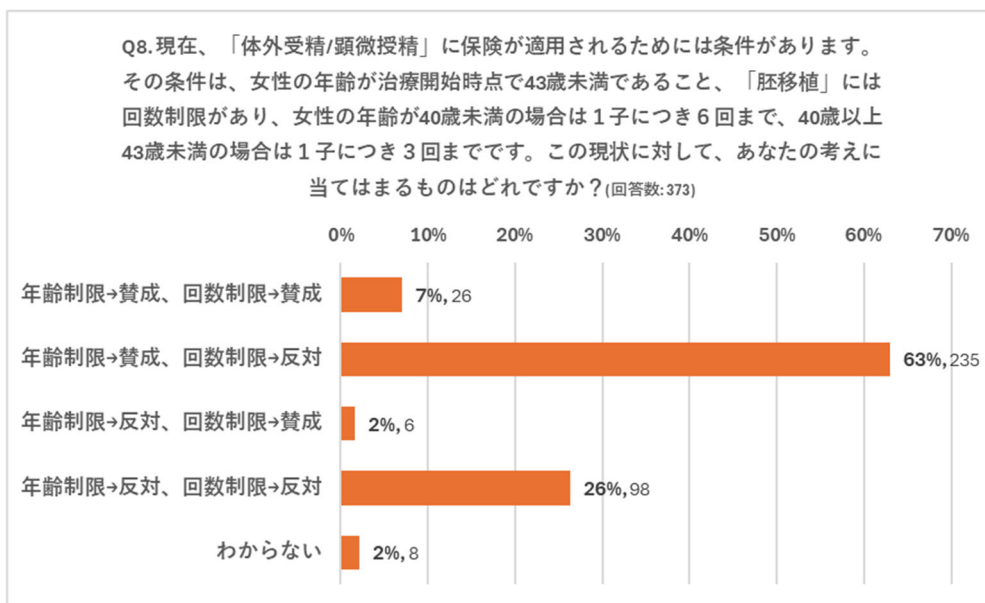


図 8

Q8. 現在、「体外受精/顕微授精」に保険が適用されるためには条件があります。その条件は、女性の年齢が治療開始時点で43歳未満であること、「胚移植」には回数制限があり、女性の年齢が40歳未満の場合は1子につき6回まで、40歳以上43歳未満の場合は1子につき3回までです。この現状に対して、あなたの考えに当てはまるものはどれですか？×Q3.あなたの不妊や不育症治療の期間を教えてください。(回答数:369)

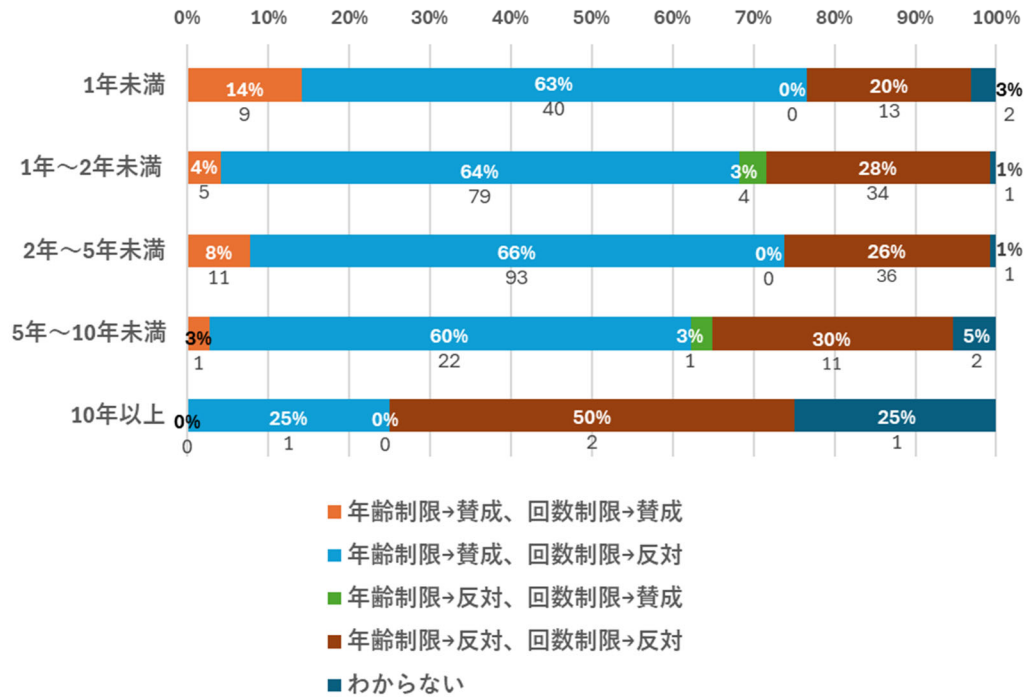


図 9

Q8. 現在、「体外受精/顕微授精」に保険が適用されるためには条件があります。その条件は、女性の年齢が治療開始時点で43歳未満であること、「胚移植」には回数制限があり、女性の年齢が40歳未満の場合は1子につき6回まで、40歳以上43歳未満の場合は1子につき3回までです。この現状に対して、あなたの考えに当てはまるものはどれですか？×Q4.あなたが受けている(きた)治療の、自己負担の割合について教えてください。(回答数:356)

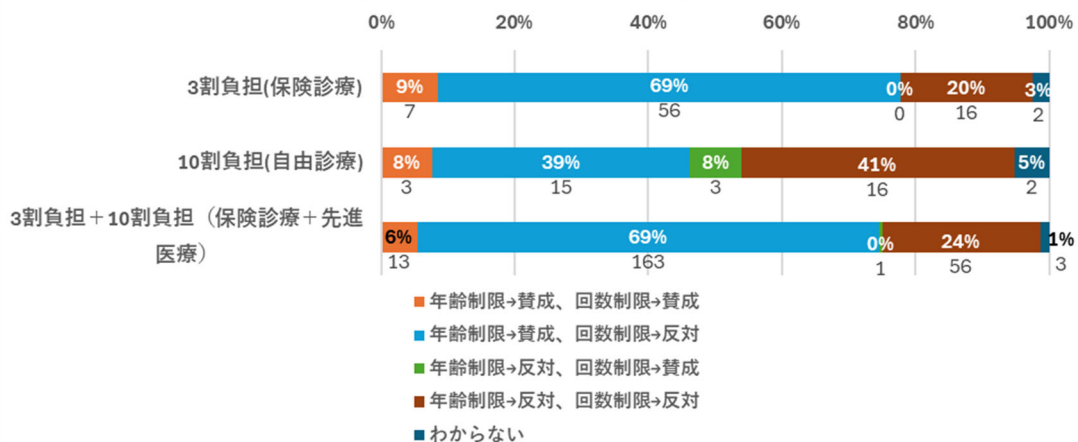


図 10

Q8. 現在、「体外受精/顕微授精」に保険が適用されるためには条件があります。その条件は、女性の年齢が治療開始時点で43歳未満であること、「胚移植」には回数制限があり、女性の年齢が40歳未満の場合は1子につき6回まで、40歳以上43歳未満の場合は1子につき3回までです。この現状に対して、あなたの考えに

当てはまるものはどれですか？ × Q17. 年齢(回答数: 356 無回答3除く)

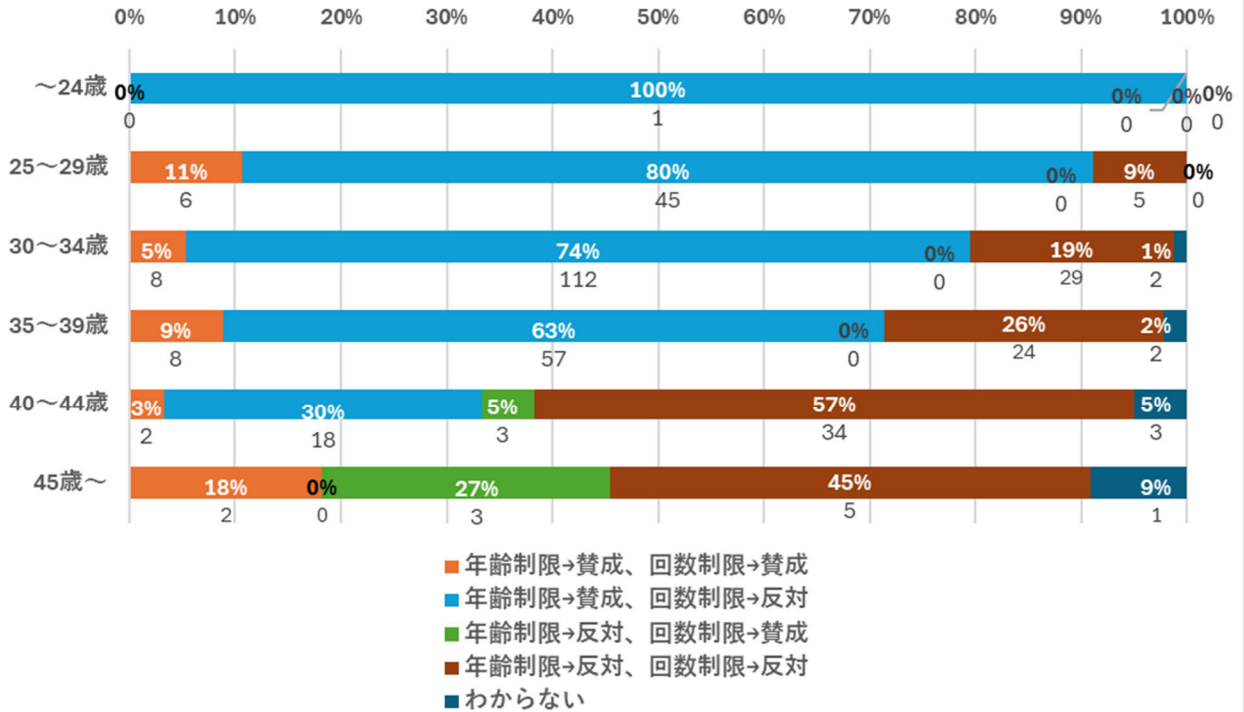


図 11

Q5. あなたは仕事をしながら不妊治療や不育症治療を受けていますか（いましたか）？(回答数: 356)

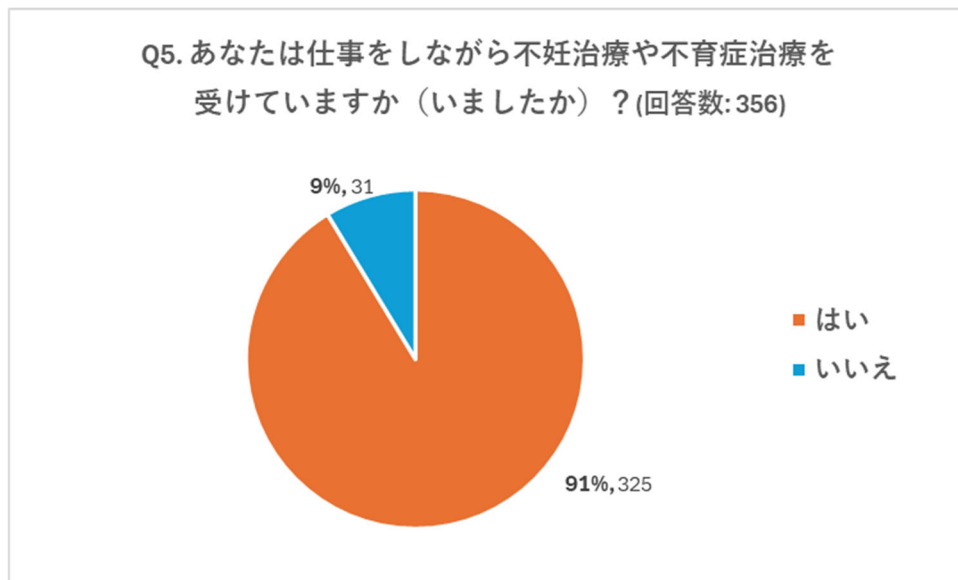


図 12

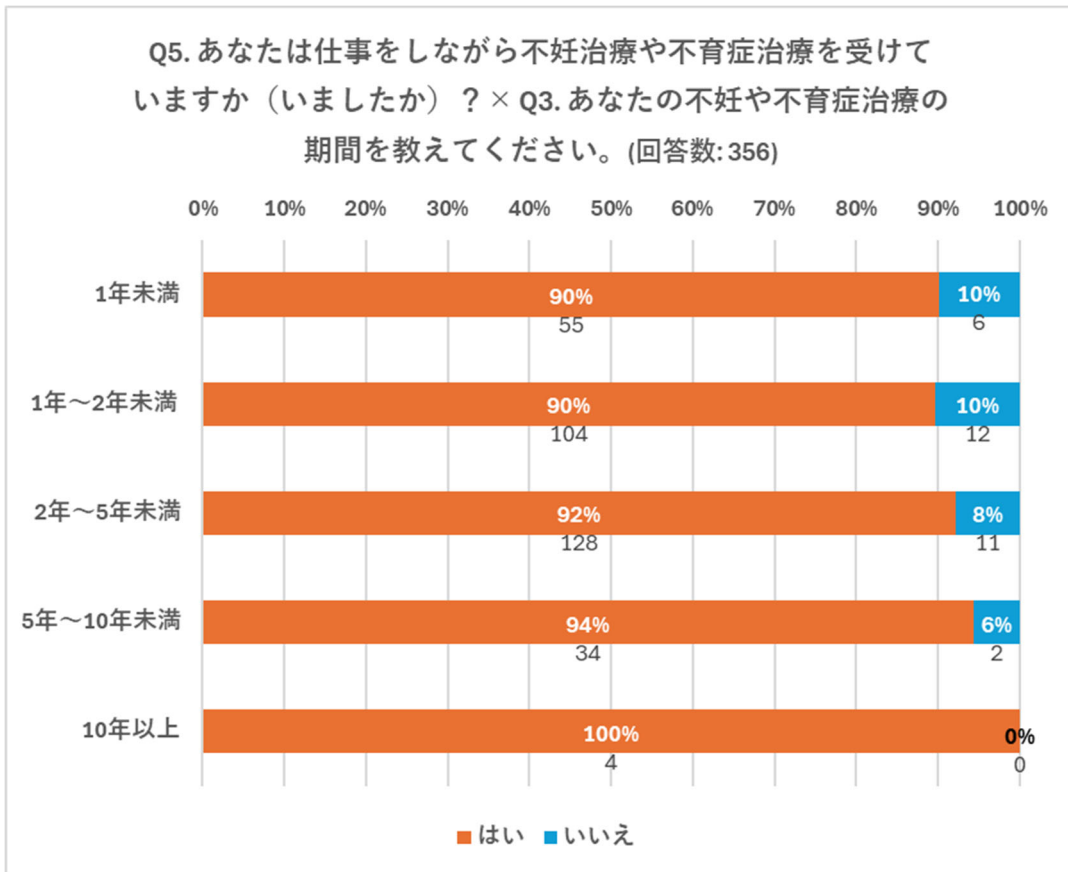


図 13

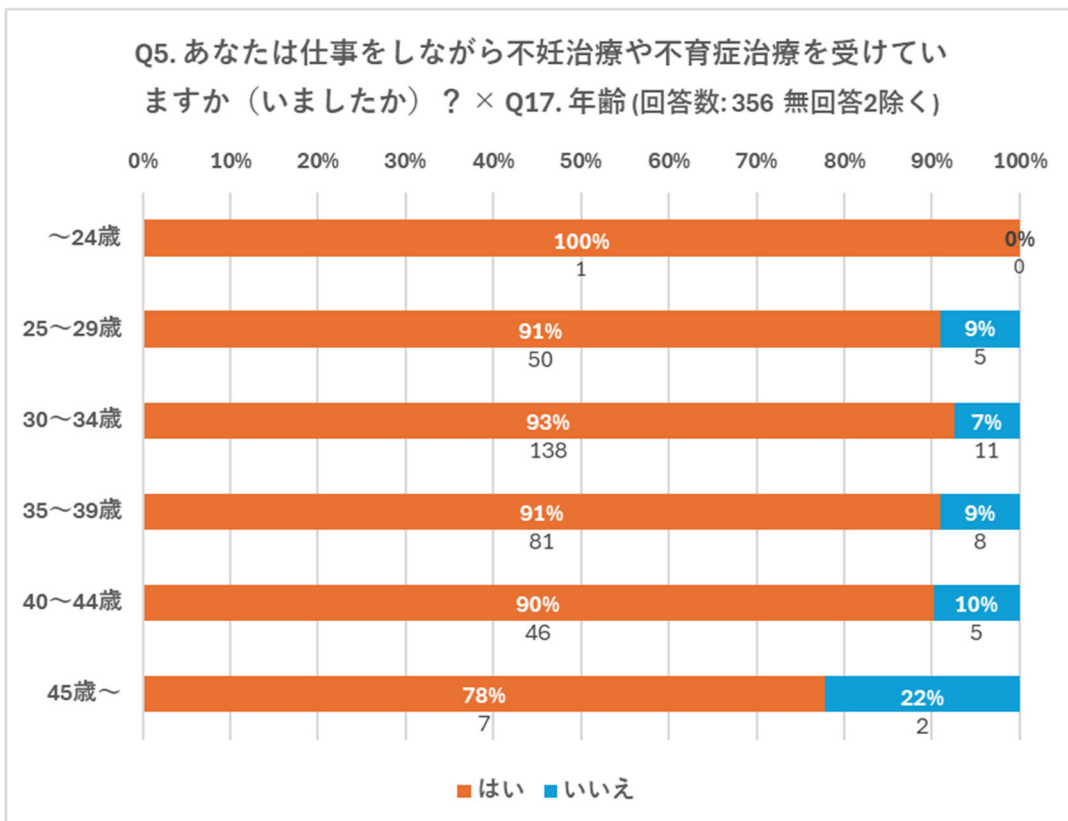


図 14

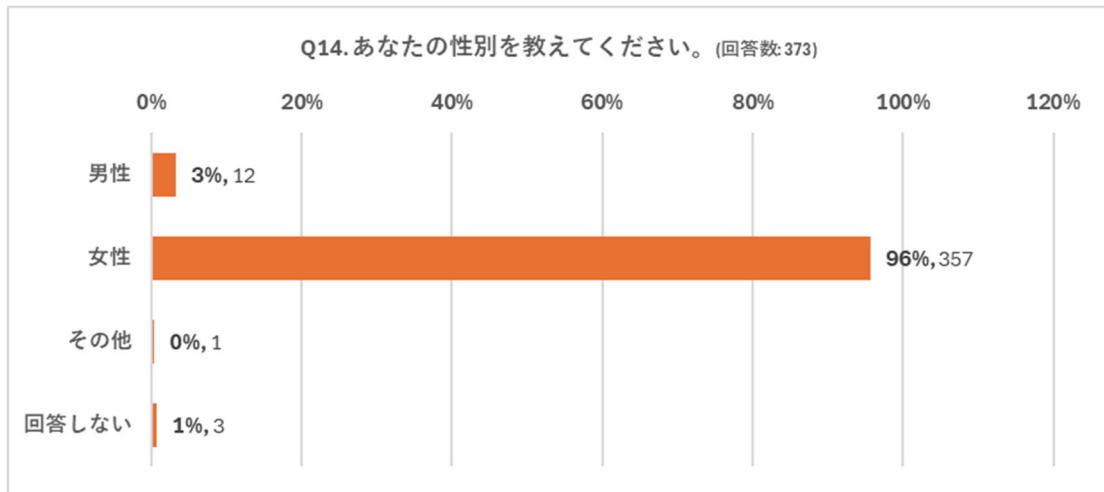


図 15

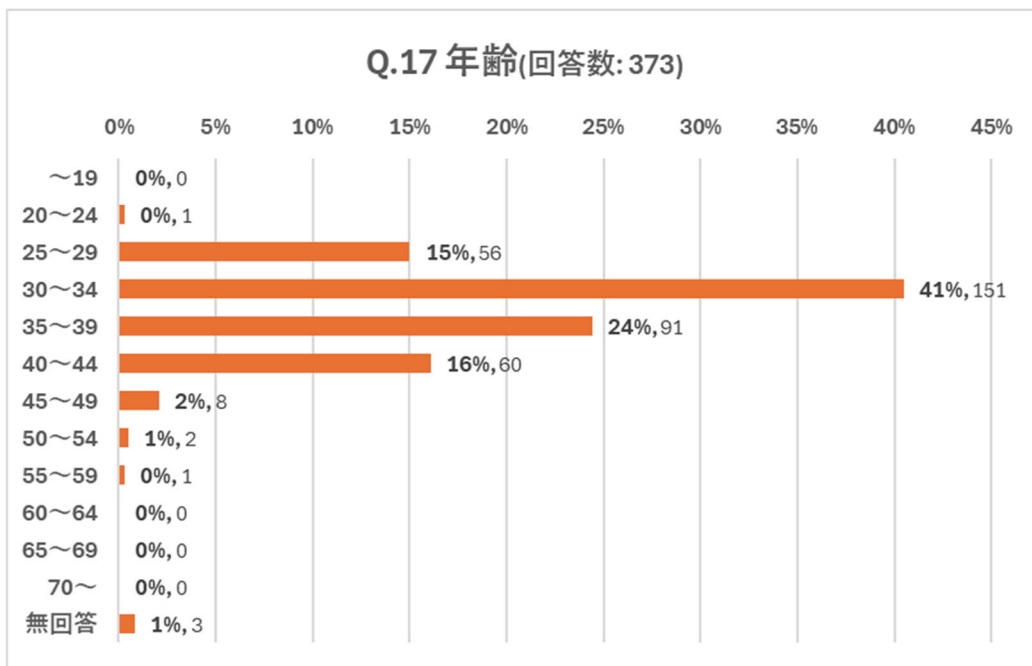


図 16

## 自由記述回答より

本アンケートの自由記述欄に寄せられたコメントを抜粋します。

### ◆不妊治療に関すること (Q11)

- 保険診療になったのは本当に感謝しています。おかげで体外受精にふみきれました。(25～29 歳女性・岐阜県・就業していない)
- この数年間の間に法改正され、不妊治療をする夫婦に対しての助成金制度が充実しつつあり、不妊治療へのハードルが低くなり私自身も 20 代夫婦でありながら治療に専念することができています。(25～29 歳女性・東京都・正社員 (専門職))
- 3 割負担でも体外受精の採卵から移植は 20 万円ほどの手出しがあります。(25～29 歳性別回答しない・東京都・正社員 (その他))
- 不妊のクリニックに雇って 4 ヶ月です。タイミング法ですが、既に 6 万円程かかっています。(30～34 歳女性・大阪府・就業していない)
- 不妊治療をしていると、女性側のメンタル維持がととても大変です。人工授精しても妊娠しない、体外受精をしても着床しなかったとき、メンタルがとんでもなく落ち込みます。これをどうにかする方法や薬があるならほしいほどです。(30～34 歳女性・神奈川県・パート・アルバイト)
- サイクルごとに薬や施術を変えないと保険適用されないのはなんとかしてほしい。毎回臍剤が変わると妻がしんどそう。(25～29 歳男性・京都府・正社員 (総合職))
- 32 歳、次回移植 5 回目です。回数制限があることでプレッシャーがとてつもないこと、回数上限に達してしまったら 30 代で子どもを諦めなければならないかもしれないこと、この不安が日々消えることなく押しつぶされそうです。(30～34 歳女性・兵庫県・パート/アルバイト)
- 我が家は経済的に自費での治療が続けられないため、6 回でダメだったら子どもは諦める。回数制限がなければもっとゆとりを持って治療ができると思う。(30～34 歳女性・千葉県・正社員 (総合職))
- 31 歳で不妊治療を始め、34 歳になり 9 回の移植をしましたが妊娠に至りません。6 回の移植制限を超えたため、7 回目以降は自費での治療になり非常に高額です。年齢的には妊娠できると言われているにも関わらず、金銭的理由で子どもを持つことを諦める可能性も出てきており精神的にもつらいです。(30～34 歳女性・愛知県・正社員 (総合職))
- 個人的には (胚移植の回数制限の) 6 回の中で妊娠できなかったのもので、それが (妊娠出産を) 諦める理由になった。(35～39 歳女性・埼玉県・派遣社員)

### ◆不育症治療に関すること (Q11)

- 不妊治療でようやく授かった子を 6 回流産しました (人工授精 1 回体外受精 5 回)。治療開始年齢は 26 歳で現在 30 歳です。移植の残り回数は残り 1 回、もう後がありません。国のお金は無限ではないことはわかっています。もう諦めるしかないことも理解しています。でもまだ 30 歳、これから結婚を考えている友人もいる中でわたしは一生自分の子を抱けないのかと思うと胸が苦しいです。(30～34 歳女性・福岡県・派遣社員)
- 移植を繰り返しても妊娠しなかったため、不育症の検査を自費で行なった。自費で行なって不育症因子が見つかったにも関わらず、自治体の不育症の助成金は「流産を 2 回以上繰り返した」ことがないともらえない。なぜ悲しい思いを何度もしないと助成金がもらえないのか。(30～34 歳女性・神奈川県・就業していない)
- 「流産を 2 回しないと受けられません」と、(不育症の) 検査を受けさせてもらえません

でした。はじめに受けられたら、その2回は流産をしなくてもすんだかもしれないのと思います。(35~39歳女性・埼玉県・パート・アルバイト)

- 化学流産2回と稽留流産1回で不育症検査を受けました。流産をもうしたくないため検査をしたが、臨床的流産をもう一度しないと市の補助が受けられず、不育症と診断されたにも関わらず全額14万円の負担となりました。(30~34歳女性・三重県・パート・アルバイト)
- 私は20代で高度不妊治療を開始しましたが不育症のため3度の流産を経験。全て心拍確認後の流産でしたが保険の回数は12週を超えなければリセットされないため、保険の6回の間に子どもを出産することは難しいだろうと絶望していました。流産しては前回と違う対策、治療にトライしそしてまた流産。という感じでした。(30~34歳女性・大阪府・就業していない)

#### ◆国や社会に対して (Q11)

- 不妊治療と仕事の両立ができるように、国としても体制を整えて欲しいです。例えば不妊治療に関しての教育・理解の促進など。もっと不妊治療に対する理解を深めてほしい。(今不妊治療していることを隠しながら仕事をしています。)(40~44歳女性・東京都・正社員(総合職))
- 20代で若くても不妊治療をするしか方法がない人はたくさんいる。不妊治療といえば晩婚や高齢出産と偏見や批判が多い。不妊治療をしている人は孤独を感じていると思う。心無い言葉をたくさん言われてきた。もっと理解や偏見がなくなるといい。(25~29歳女性・神奈川県・正社員(専門職))
- 回数制限の6回は、本当に少ないと思います。私は化学流産を4回した後、今は自費治療で治療していますが金銭的に余裕がなくなってきており、32歳ですが諦めるか悩んでいます。どうか回数制限を無くしてください。(30~34歳女性・静岡県・派遣社員)
- 不妊治療に対する社会の知識不足が多い。触れてはいけないことのように。確かに「恥ずかしい」と思うこともあるけど、もっとオープンになっていいと思う。(30~34歳女性・埼玉県・正社員(一般職))
- 地方ではクリニックの選択肢がない、大学病院は数か月先まで予約が埋まっている、(採卵時は)麻酔医がいなかったため局所麻酔のみで痛い思いをするなど、アクセスできる医療に格差を感じる事が多くあります。(35~39歳女性・岩手県・契約社員)
- 出産・育児を推進するなかで、子どものいない人の居場所が社会になくなっていくという声がおしゃべり会の中で出てきていた。そうした人の存在もとりこぼさない未来のデザインを希望したい。(35~39歳女性・神奈川県・フリーランス)

#### ◆不妊治療と仕事の両立に関するコメント

- 私は総合職フルタイム勤務と不妊治療の両立ができず、適応障害で休職しました。「仕事を休んで何の意味があるの?」「まだ30歳で若いんだからそんな治療に集中しなくても良い」と上司に言われました。まだまだ社会の理解はなく、通院のたびに移動や採血結果待ちを含めると勤務時間の3~4時間ほど時間抜けすることがかなり負担でした。(30~34歳女性・東京都・正社員(総合職))
- 不育症の認知度自体があまりにも低い。私は不妊症×不育症なので、授かるのも、妊娠継続するのも人一倍困難ですが、「不育症のため妊娠した後は12時間おきに自己注射の必要があります」と職場に伝えても全くピンときていない様子。生まれながらにして無治療では妊娠継続が困難な人がいること、そのような人でも医療介入すれば他の人と同じように産める可能性が高いことを、もっと世の中に広く知っていただきたいです。(30~34歳女

性・東京都・正社員 (その他))

- 会社から「(不妊治療は) 迷惑だから辞めて欲しい」とか「もう良くない?」と言われるハラスメントが嫌です。(40~44 歳女性・千葉県・正社員 (一般職))
- 働きながらの不妊治療は職場に相当理解がないと厳しい。私もこれまではなんとか両立してきたが、治療が長引き 4 年目に入る頃、職場との折り合いが悪くなっていき、現在休職中。(30~34 歳女性・東京都・正社員 (その他))
- 不妊治療に対してまだまだ理解がないと思います。体外受精は特に通院回数も増えてやりくりが難しくなります。私は人数の少ない職場で働いていた為に辞めざるを得ませんでした。(35~39 歳女性・神奈川県・就業していない)

### 【不妊治療の現状】

日本で不妊を心配したことがあるカップルは 3 組に 1 組、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある (または現在受けている) カップルは 4.4 組に 1 組といわれています<sup>(\*)</sup>。日本で体外受精や顕微授精などの生殖補助医療 (ART) によって生まれた子どもは、2023 年度は 85,048 人<sup>(\*\*)</sup>を数え、その年の出生児全体の約 8.55 人に 1 人が ART により誕生したことになります<sup>(\*\*\*)</sup>。さらに累積では約 100 万人が ART で誕生しています<sup>(\*\*)</sup>。

(\*) 国立社会保障人口問題研究所「第 16 回出生動向基本調査」(2021 年 6 月)

<https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou16/JNFS16gaiyo.pdf>

(\*\*) 生殖補助医療による出生児数 (2023 年、累計出生児数) は、日本産科婦人科学会『2023 年体外受精・胚移植等の臨床実施成績』より。

[https://www.jsog.or.jp/activity/art/2023\\_JSOG-ART.pdf](https://www.jsog.or.jp/activity/art/2023_JSOG-ART.pdf)

(\*\*\*) 2023 年 (令和 5 年) の出生数は、「人口動態統計」(厚生労働省) による。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei23/index.html>

### 調査概要

- ・ 調査目的：不妊治療の保険適用にかかる回数や年齢の制限によって、不妊・不育症の当事者にどんな困難や思いが生じているかを知り、社会に届けるため
- ・ 調査期間：2025年11月13日~2025年12月15日
- ・ 調査方法：WEB アンケート。自由回答を含む全 18 問
- ・ 対象者：2022年4月以降に不妊や不育症治療を経験した人、治療中の人、これから始めようと思っている人
- ・ 回答数：373
- ・ 設問：[https://j-fine.jp/activity/enquate/kinkyu-hoken\\_anketo2025\\_q.pdf](https://j-fine.jp/activity/enquate/kinkyu-hoken_anketo2025_q.pdf)

※本調査結果を引用する場合、下記をご記載ください。

『NPO 法人 Fine「不妊治療の保険適用の条件緩和に関する緊急アンケート 2025」より』

~Fine 会員は約 2,700 名 (2026 年 2 月現在)~

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network =ファイン) <https://j-fine.jp/>  
〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

E-mail◆NPO 法人 Fine 広報窓口：[finekouhou@j-fine.jp](mailto:finekouhou@j-fine.jp)